

研究課題「進行卵巣癌制御を目的とした腹膜環境を標的とする新規治療法の開発」に関する情報公開

1. 研究の対象

1990年1月1日～2025年12月31日の間に当院で卵巣腫瘍に対する治療を受けた患者

2. 研究目的・方法・研究期間

本研究は、腹膜環境を標的とした治療戦略の開発を最終目的としています。卵巣癌の生存する環境を構成する細胞の機能に着目し、生命予後を司る新たな指標の探索を行います。更に、卵巣癌の腹膜環境における生物学的な機能を詳細に解明することで、腹膜を卵巣癌における新規の治療標的とします。本研究の成果により、進行卵巣癌の増殖・進展を制御することで、将来の卵巣癌患者さんの生命予後が向上し、有益となることが予測されます。

対象となる患者さんから通常の診療の範囲内で摘出した組織より細胞成分を抽出し、蛋白質や遺伝子の発現などの解析を行います。具体的には、子宮及び卵巣・卵管、大網腹水、血液などの手術や治療に伴い採取される検体や、患者さんの臨床情報（診断日、手術日、術式、治療経過など）を用いて生物学的物質の分析を行い、臨床上的意義の検討を行います。腹膜環境を標的とした治療法の開発では、患者さん由来の腹膜構成細胞（中皮細胞や脂肪細胞など）、あるいは別の研究で採取した既存試料である胎児付属物由来の細胞やその副産物、さらにこれらを生物学的に改変した試料を用いて、実験レベルにおいてその有効性を評価します。他施設にて得られた、上述した内容と同様の試料は、当院において同じく評価し、適切に管理を施した上で実験に使用します。また、一部の患者さんから抽出した細胞成分（腫瘍組織や正常の腹膜に由来する細胞）は、共同研究先にてシート化等の調整を施した後に、当施設での実験に用いる予定です。

当該試料等は当研究施設において匿名化を行った後に保管します。本研究参加時には特定され得ない将来の研究に、当該試料・情報が利用される場合があります。また、試料・情報を他の研究を行う機関に提供し、提供時には特定されない将来の研究に試料・情報が利用される場合があります。

研究機関：実施承認日から 2026年 12月 31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：血液、手術で摘出した組織等

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号等

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関への試料の提供においては、上記の方法で匿名化を行った上で直接提供を行います。該当試料は、特定の関係者以外アクセスできない状態とします。対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科学・特任助教・吉原雅人
名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科学・教授・梶山広明
名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科学・准教授・小谷友美
名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科学・大学院生・北見和久
名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科学・大学院生・伊吉祥平
名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科学・大学院生・宇野枢
名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科学・大学院生・茂木一将
名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科学・大学院生・田野翔
名古屋大学大学院医学系研究科
ベルリサーチセンター産婦人科産学協同研究講座・特任講師・小屋美博
名古屋大学大学院医学系研究科
名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍病理学・教授・榎本篤
名古屋大学大学院医学系研究科 生物統計学・教授・松井茂之
名古屋大学大学院医学系研究科 生物統計学・准教授・江本遼
ベルリサーチセンター・研究員・杉山麻衣
名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所・特任准教授・多喜正泰
名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所・特任准教授・佐藤綾人
名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所・大学院生・梶原啓司
岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍病理学・准教授・富田弘之
愛知県がんセンター病院 婦人科・部長・鈴木史朗
大阪大学 微生物病研究所 情報伝達分野・助教・木戸屋浩康
ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング 研究開発部・渡部正利喜
トヨタ記念病院 産婦人科・副院長・小口秀紀

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：052-744-2261

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科学・特任助教・吉原雅人

研究代表者：

名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科学・特任助教・吉原雅人